

さぬき

《発行元》 社会福祉法人弘善会 児童養護施設讃岐学園

〒761-0322 香川県高松市前田東町569-2 TEL (087)847-5171 FAX (087)847-5173

ホームページ <https://www.kouzenkai.jp/> e-mail sanukigakuen@kouzenkai.jp

[題字] 真言宗善通寺派前管長 櫻原禪澄 大僧正



2020年夏、56年ぶりの東京オリンピックがあり、開催にあたり、3月から、多くの人々が参加し、各地域が持つ多様な魅力を発信するオリンピック聖火リレーが全国各地で行われる予定でした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染の世界的拡大によりオリンピックは概ね一年延期、聖火リレーは新たに検討することになりました。

特に、私は聖火リレーを大いに楽しみにしていました。

思いおこせば、1964年の東京オリンピックの時は、私は小学校4年生でありましたが、同級生みんなとともに見た聖火リレーの光景が鮮やかに記憶に残っています。

あの時、聖火を見たみんなの思いは、これから何かが始まる。それは、きっときっと良いこと、おもしろいこと、楽しいことに違いない。そんな、何かしら未来に向けての夢とか、希望とかといった淡い期待感に胸をふくませ、みんなワクワクしていたような気がします。

聖火というのは、そんな思いを抱かせるものだとも思っています。

聖火リレーは来年新たに計画されるようですが、その時は学園の子どもたちみんなで聖火リレーを見に行き、沿道で大きな声で応援し、子どもたちにはワクワクと高揚する何かを感じてもらえればいいのになあと思っています。

そして、東京オリンピックも、早く感染症が終息し、平和の祭典として世界各国の人々が東京に集まり、友達の輪が世界に広がって行くことを心から願っています。

児童養護施設 讃岐学園 園長 藤井 敏孝

新しくなった讃岐学園の食事をのぞいてみよう

讃岐学園では、栄養士が子どもの成長を考えて献立を作り、4人の調理師が交代勤務で食事を作っています。

また、月に1回、子どもから食事の感想や食べたいメニューを聞いたり、栄養士が季節の食材や食事マナーの話をする「給食委員会」を開いています。それでは子どもたちに人気のメニューの紹介からです。



1位



2位



3位



4位

○人気メニュー第1位は、ラーメン！
餃子やシュウマイ、肉まんと一緒にメニューとして、並びます。

○人気メニュー第2位は、カレー！
いつの時代も子どもたちの大好きなメニュー。福神漬けやらっきょうを添えて、サラダかデザートが付くことが多いです。

○人気メニュー第3位は、グラタン！
ドリアも人気です。チーズを使ったメニューはあっという間になくなります。

○人気メニュー第4位は、オムライス！
ふわとろオムライスではなく、正統派のオムライスです。



讃岐学園では、夏休みやお正月などの長期休暇の際には、各グループで子どもたちと相談して、好きなメニューを作る日があります。新しいキッチンやホットプレートを使っての調理は子ども達も大好き。幼児さんも大人顔負けのコテさばき。上手にお好み焼きをひっくり返してくれます。小学生は餃子の皮包みや、玉子焼きをととても器用に楽しく作っています。



食事だけでなく、甘いものも大好き！スイーツ男子の頑張りを紹介します。



①みんなの見守る中、慎重に卵を割り入れ



②しっかり混ぜて～



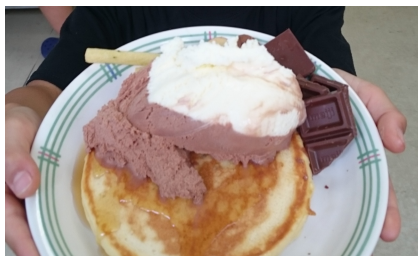
③生地をホットプレートに投入



④ひっくり返すのもドキドキしながら成功



⑦飲み物はミルクティーにタピオカを入れて



⑥トッピングはセンスで



⑤お皿に盛りつけて



たくあん作りのために干しています



讃岐学園の畑では、季節ごとにたくさんの収穫が！ボランティアの國木さん平尾さんには長年お世話になっています。

春：じゃがいも、レタス、玉ねぎ、いちご、サクランボ
夏：ミニトマト、ピーマン、なす、すいか、きゅうり、オクラ、トウモロコシ、枝豆、カボチャ

秋：さつまいも、キウイ、ネギ

冬：大根、白菜、ほうれん草、ブロッコリー、まんば
子ども達が作った美味しそうな作品もたくさんあります！

栄養士から

各グループにキッチンが配置されたことで、グループで調理する機会も増えて、調理→盛り付け→食事→片付けの流れが日常生活の中にあり、職員のお手伝いもすすんでしてくれています。

子どもたちはどんどん成長し、食べる量も増え、「まだ食べるの？」と思うくらい食欲旺盛。

テレビでの情報や、子ども達の希望から、「この料理食べたい」「こんな料理作れるかな」と調理員さんと相談しながら、日々の献立作成に取り組んでいます。



台拭きや雑巾も器用にミシンで

もうすぐ結願 歩き遍路

土釜前園長の提案で帰省できない子数名を対象とした歩き遍路が始まったのは平成23年の夏休みでした。たくさん子ども達と職員がつないできた歩き遍路も、あと4カ寺を残すところとなりました。既に卒園した子どもも居ますが、これまで参加した在園児に、歩き遍路に行っただったか、アンケートをとってみました。

結果は・・・



平成23年に土釜前園長と子ども二名、職員二名が初めてお遍路に行った時の写真です。

みんな喜んでアンケートに答えてくれました。記入する前から、どれだけお遍路に行きたいか、どんなに楽しいかを目を輝かせて教えてくれた子や、近くにいたグループの職員に「また行きたい」とアピールする子もいました。子ども達が文字にしてくれた言葉では表現しきれないお遍路の魅力を、子どもたちの素直な反応で感じ取ることができました。その気持ちがほんの少しでも伝わればと思っています。

ご報告

いつも讃岐学園を応援していただき、まことにありがとうございます。

令和元年度のさめき学園まつりにおいて、一般の来園の皆さまから募金箱に温かいご支援をいただき、11,555円の寄付金が集まりました。ご寄付いただいた全額は、年末に行われたクリスマス会のプレゼント代として使わせていただきました。本当にありがとうございました。



藤井園長はピカチュウです

<権利擁護と苦情への取り組み>

子どもとの信頼関係をより一層深め、権利擁護意識を醸成するため、職員会議の冒頭に「全国児童養護施設協議会倫理綱領」を読み合わせ、FE会（子ども自治会）を定期的に行うなど、子どもの権利擁護と職員の意識向上に努めました。

いつでも、どこでも気軽に相談ができるよう、幼・小・中学校教諭を苦情解決第三者委員に委嘱して、「悩み相談、安心、なんでも受付箱（苦情箱）」を寮・ユニット玄関、各ユニット談話室等に設置するとともに、子ども女性相談センターなどの連絡先を掲示し、相談機関を周知しました。

平成30年度は、施設の大規模改修があり、1人部屋の確保が出来なくて、子どものプライバシーが守られなかったり、精神的に不安定になりがちでした。施設内の子ども同士の悪口とか、いやがらせ、口論などが多く、女の子からの投稿がほとんどでした。また、小規模グループケア施設ができてからは、苦情の訴えがかなり減りました。職員と子どもの関係がより近くなったことが要因と考えられます。

内容	対応と結果	件数	
		H30	H29
○友だち関係 ・悪口 ・いやがらせ ・喧嘩	・職員が当事者同士の中に入って話し合う。 ・職員が本人と話し合う。	34	54
○職員との関係 ・新採職員との関係性 ・担当替えを希望 ・職員が子どもの悪口を言う。	・職員と子どもで話し合いの場をもつ。 ・本人の気持ちをよく聞いて話し合う。 ・職員からの聞き取りと本人との話し合い。	3	1
○要望 ・1人の子が悪いことをすると、連帯責任で全員がテレビをみられないのは改善して欲しい。	・職員と子どもで十分話し合っ、納得の上で約束事を決める。	1	3
○その他 ・テレビ番組の取り合い ・眠たい時に寝れないので1人部屋にしてほしい	・テレビの台数が限られているので、こども同士で約束事を決める。 ・小規模グループケアになれば1人部屋になるので、それまでは我慢して欲しい。	2	1

平成30年度 事業活動計算書

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決算額
児童福祉事業収益	
措置費収益	235,139,418
その他の事業収益	6,399,820
経常経費寄附金収益	2,617,940
サービス活動収益計①	244,157,178
人件費支出	157,976,484
事業費支出	39,494,158
事務費支出	15,743,447
減価償却費	14,169,612
国庫積立金特別積立金取崩額	-8,568,297
サービス活動費用計②	218,815,404
サービス活動増減差額③(①-②)	25,341,774
サービス活動外収益計④	2,652,136
サービス活動外費用計⑤	0
事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	2,652,136
経常増減差額⑦(③+⑥)	27,993,910
特別収益計⑧	419,708,305
特別費用計⑨	418,248,003
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	1,460,302
当期活動増減差額合計⑪(⑦+⑩)	29,454,212
前期繰越活動増減差額⑫	138,439,837
当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	167,894,049
その他積立金取崩額⑭	26,000,000
その他積立金積立額⑮	0
次期繰越活動増減差額⑯(⑬+⑭-⑮)	193,894,049

貸借対照表

平成31年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	313,139,991
固定資産	825,146,167
基本財産	703,872,658
その他の固定資産	121,273,509
資産の部合計	1,138,286,158
負債の部	
流動負債	252,271,168
固定負債	9,930,724
負債の部合計	262,201,892
純資産の部	
基本金	324,686,000
国庫補助金等特別積立金	267,704,217
その他の積立金	89,800,000
次期繰越活動増減差額	193,894,049
純資産の部合計	876,084,266
負債及び純資産の部合計	1,138,286,158

多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。

平成31年4月～令和元年度12月31日

寄付

(株)マキタ代表取締役植田裕、矢野ディビット、日本鏡餅組合、川井郁子、滝川芽依、久保亮介、高松市共同募金会、(有)完土代表取締役完土剛、野村證券高松支社、江島繁夫税理士事務所、高松キワニスクラブ、マスウド・ソバハニ、守成クラブ四国連絡協議会、大和リース(株)協力連合会、(株)日光商事、(株)たまや、(株)グッドセレクション江島唯夫、(株)エス代表取締役内海加奈子、トレジャーワン・アッカ、吉田孝平、佃邦昭、加藤秀義、(株)ジャックス、信光寺、(株)サニクリーン四国高松支店、旭商工(株)代表取締役菅谷公隆、広瀬石油、全国シャンメリー協同組合、文屋代表木下豊、西原恵一、多田博文、高松グリーンロータリークラブ会長濱田吉隆、高松市立一宮小学校PTA、高杉比呂志、小川あつ、(一財)日本児童養護施設財団全国児童養護施設総合寄附サイト運営事務局、木村医院、黒田実、高松市PTA連絡協議会、(一社)香川県冷凍空調設備工業協会、近藤有希、フードセンター小西、青木アカネ、こうじ歯科、村尾浩二郎、谷口敦子、愛染興業(株)アイゼン片原町店、高松信用金庫元山支店、浅野八王子八幡神社、原口進、清滝山栄光寺池田宗弘、平尾博、森屋絹代、NPO法人タイガーマスク基金、東町本若、ピッツェリアアルチエントロ、友兼毅、東照寺、高松市赤十字奉仕団、タリーズコーヒージャパン(株)マーケティング本部、中国アイスクリーム協会、「庵治町小さな親切」運動、今村信哉、(株)坂出自動車学校、本藤貴則、真央タクシー藤澤吉久、スズケングループ労働組合連合会、都村慶子、岡井勲、川田浩、四国遊技機商業協同組合、香川県理容生活衛生同業組合理容ボランティアグループ同、小豆更生保護女性会、風騎会、(有)辻造船鉄工所代表取締役辻敬一、神原博、西本雅生、小西初子、弥谷寺、三野町更生保護女性会、安部勝久、谷本将勝、三豊地区更生保護女性会、平井一成、香川県露店商業協同組合、(有)山地青果、大村真道、前田ときわ会北原貞夫、高松空港ライオンズクラブ、稲田正三、河田建子、有岡信次、高松市赤十字奉仕団川添分団、(株)代表取締役中谷剛、カワゾエ衣料センター溝淵操子、ニッサン総合保険企画、(株)高松産業廃棄物センター、高松東ライオンズクラブ、高松グリーンロータリークラブ、三和電業(株)高松支店員一同、(株)R・Life代表取締役小山良造、(株)カインズガーデン、JROB会、匿名の方々

助成金

公益財団法人 砂原児童基金



招待

高松グリーンロータリークラブ、六車健、総本山善通寺、赤十字奉仕団仲南支部、若葉保育園、高松市赤十字奉仕団、弘恩苑、香色苑

慰問

知事慰問(子ども政策推進局長小川秀樹)、香川県露店商業協同組合、ときわ会、香川県中小起業家同友会高松第8支部、小豆更生保護女性会、三野町更生保護女性会、三豊地区更生保護女性会、大和リース(株)協力連合会、ワールドメイト、「庵治町小さな親切」運動、東町本若、マスウド・ソバハニ

ボランティア

香川県理容生活衛生同業組合理容ボランティアグループ、平尾博、國木健司、笠井真一郎、高松東高等学校、風騎会、マスウド・ソバハニ、アクセント、岡雅洋、新谷富子、吉川敏則、(一社)香川県ビルメンテナンス協会、竹内栄作、その他のボランティアの方々

敬称略・順不同

～後援会員募集～

讃岐学園後援会は、子どもたちの安心・安全な生活を物心両面で支援しています。未来ある子どもたちが、笑顔あふれる、充実した生活が送れますよう、皆様のお力添えをお願いします。

年会費 法人会員 1口5,000円 個人会員 1口2,000円

〇ゆうちょ銀行 01650-2-5168 <<口座名>>讃岐学園

〇百十四銀行本店営業部 普通預金0119413

<<口座名>>社会福祉法人弘善会児童養護施設讃岐学園後援会事務局長 藤井 敏孝

